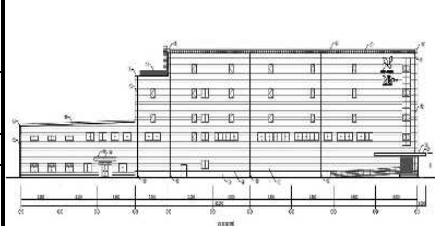


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社日伝 蓮田物流センター新築工事	階数	地上5F
建設地	埼玉県蓮田市	構造	S造
用途地域	地域指定なし、防火地域指定なし	平均居住人員	125 人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,920 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年4月 予定	評価の実施日	2024年8月20日
敷地面積	6,878 m ²	作成者	福澤 伸彦
建築面積	3,285 m ²	確認日	2024年8月26日
延床面積	12,174 m ²	確認者	福家 利一



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100%
②建築物の取組み: 73%
③上記+②以外の: 73%
④上記+: 73%

46 (kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Qのスコア = 2.6

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

音環境: N.A., 温熱環境: N.A., 光・視環境: N.A., 空気質環境: N.A.

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

機能性: N.A., 耐用性・信頼性: 2.9, 対応性・更新性: 3.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

生物環境: 1.0, まちなみ・景観: 3.0, 地域性・アメニティ: 2.0

LR 環境負荷低減性

LRのスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

建物外皮の熱負荷: N.A., 自然エネルギー: 3.0, 設備システム効率化: 5.0, 効率的運用: 3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

水資源保護: 3.4, 非再生材料の使用削減: 3.1, 汚染物質回避: 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

地球温暖化への配慮: 4.0, 地域環境への配慮: 3.3, 周辺環境への配慮: 2.7

3 設計上の配慮事項		
総合	ライフサイクルCO ₂ 排出率の低減に努め、地球環境保護に配慮している。	その他 特になし。
Q1 室内環境	評価対象外	Q2 サービス性能 階高: 3.7m以上、3.9m未満 床荷重: 4500N/m ² 以上
LR1 エネルギー	BEIm = 0.43	Q3 室外環境(敷地内) 特になし。
	LR2 資源・マテリアル 節水コマなどに加えて、節水型便器も採用している。 LGSを使用している。 ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を使用している。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率73%。 燃焼機器を使用していない。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい

CASBEE-建築(新築)2016年版
株式会社日伝 蓮田物流センター新築工事

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質								2.6	
Q1 室内環境									
1 音環境									
1.1 室内騒音レベル				-	-	-	-		
1.2 遮音				-	-	-	-		
1 開口部遮音性能				-	-	-	-		
2 界壁遮音性能				-	-	-	-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	-	-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	-	-		
1.3 吸音				-	-	-	-		
2 温熱環境									
2.1 室温制御				-	-	-	-		
1 室温				-	-	-	-		
2 外皮性能				-	-	-	-		
3 ゾーン別制御性				-	-	-	-		
2.2 湿度制御				-	-	-	-		
2.3 空調方式				-	-	-	-		
3 光・視環境									
3.1 昼光利用				-	-	-	-		
1 昼光率				-	-	-	-		
2 方位別開口				-	-	-	-		
3 昼光利用設備				-	-	-	-		
3.2 グレア対策				-	-	-	-		
1 昼光制御				-	-	-	-		
3.3 照度				-	-	-	-		
3.4 照明制御				-	-	-	-		
4 空気質環境									
4.1 発生源対策				-	-	-	-		
1 化学汚染物質				-	-	-	-		
4.2 換気				-	-	-	-		
1 換気量				-	-	-	-		
2 自然換気性能				-	-	-	-		
3 取り入れ外気への配慮				-	-	-	-		
4.3 運用管理				-	-	-	-		
1 CO ₂ の監視				-	-	-	-		
2 喫煙の制御				-	-	-	-		
Q2 サービス性能					0.43			3.3	
1 機能性									
1.1 機能性・使いやすさ				-	-	-	-		
1 広さ・収納性				-	-	-	-		
2 高度情報通信設備対応				-	-	-	-		
3 バリアフリー計画				-	-	-	-		
1.2 心理性・快適性				-	-	-	-		
1 広さ感・景観				-	-	-	-		
2 リフレッシュスペース				-	-	-	-		
3 内装計画				-	-	-	-		
1.3 維持管理				-	-	-	-		
1 維持管理に配慮した設計				-	-	-	-		
2 維持管理用機能の確保				-	-	-	-		
2 耐用性・信頼性									
2.1 耐震・免震・制震・制振				2.9	0.50	-	-	2.9	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.50	-	-		
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.80	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数				3.0	0.20	-	-		
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				3.0	0.20	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				3.0	0.20	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20	-	-		
2.4 信頼性				2.6	0.20	-	-		
1 空調・換気設備				3.0	0.20	-	-		
2 給排水・衛生設備				2.0	0.20	-	-		
3 電気設備				3.0	0.20	-	-		
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20	-	-		
5 通信・情報設備				2.0	0.20	-	-		

3 対応性・更新性			3.7	0.50		-	-	3.7
3.1 空間のゆとり			3.6	0.30		-	-	
1	階高のゆとり	階高: 3.7m以上、3.9m未満	4.0	0.60		-	-	
2	空間の形状・自由さ		3.0	0.40		-	-	
3.2 荷重のゆとり		床荷重: 4500N/m ² 以上	5.0	0.30		-	-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40		-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20		-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20		-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10		-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10		-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20		-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.57		-	-	2.1
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30		-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40		-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.0	0.30		-	-	2.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50		-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50		-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-		-	-	3.6
LR1 エネルギー			-	0.40		-	-	4.2
1 建物外皮の熱負荷抑制			-	-		-	-	-
2 自然エネルギー利用			3.0	0.13		-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.43	5.0	0.63		-	-	5.0
4 効率的運用			3.0	0.25		-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00		-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50		-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50		-	-	
集合住宅の評価			-	-		-	-	
4.1	モニタリング		-	-		-	-	
4.2	運用管理体制		-	-		-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30		-	-	3.2
1 水資源保護			3.4	0.20		-	-	3.4
1.1 節水		節水コマなどに加えて、節水型便器も採用している。	4.0	0.40		-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60		-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70		-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30		-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.1	0.60		-	-	3.1
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.11		-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.22		-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.22		-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.22		-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-		-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		LGSを使用している。	4.0	0.22		-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.20		-	-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30		-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.5	0.70		-	-	
1	消火剤		-	-		-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を使用している。	4.0	0.50		-	-	
3	冷媒		3.0	0.50		-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30		-	-	3.3
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率73%。	4.0	0.33		-	-	4.0
2 地域環境への配慮			3.3	0.33		-	-	3.3
2.1 大気汚染防止		燃焼機器を使用していない。	5.0	0.25		-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50		-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.2	0.25		-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25		-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-	-	
3	交通負荷抑制		2.0	0.25		-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25		-	-	
3 周辺環境への配慮			2.7	0.33		-	-	2.7
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	-	
1	騒音		3.0	1.00		-	-	
2	振動		-	-		-	-	
3	悪臭		-	-		-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40		-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70		-	-	
2	砂塵の抑制		-	-		-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30		-	-	
3.3 光害の抑制			1.6	0.20		-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		1.0	0.70		-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	-	

CASBEE埼玉県 重点項目シート

■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	株式会社日伝 蓮田物流センター	BEE	1.2	BEEランク	★★★
------	-----------------	-----	-----	--------	-----

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア			
4.0	+	2.0	=	6.0	
重点項目の各スコアの合計点					
がんばろう 6.0未満	良い 6.0以上	非常によい 6.8以上	すばらしい 8.0以上		
					

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減		スコア平均	4.0
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	4.0
ライフサイクルCO2排出率73%。			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	2.0
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	1.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	2.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	3.0
特になし。			

:入力欄